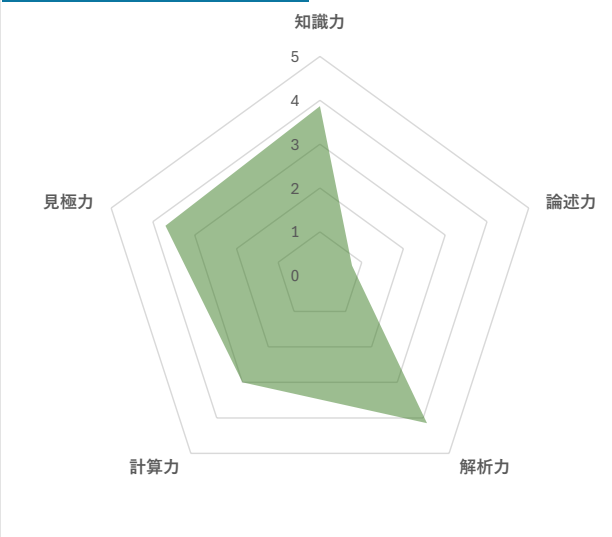


総合分析

試験区分 一般

制限時間 60分(理科2科120分) 大問数 全4問

合格に要する能力(5段階)



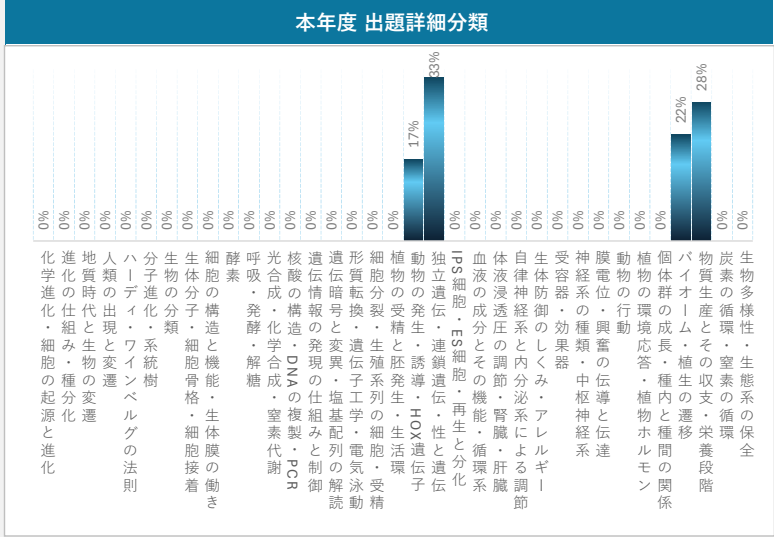
合格に要する能力(5段階)		
知識力	3.7	出題分野の幅広い知識を有するか
論述力	0.6	設問の指定に沿って的確に記述する力
解析力	4.0	図表データなどから分析・解析する力
計算力	2.8	式を組み立て、正しく計算する力
見極力	3.5	難度を判断し、適切に時間配分する力

出題分野	
系統と進化	0%
生命現象と物質	0%
遺伝子	0%
生殖と発生	50%
生物の環境応答	0%
生態	50%

本年度 解答形式

選択肢 72% 論...

本年度出題テーマ一覧	
第1問	バイオームの分布, 日本の垂直分布
第2問	両生類の発生
第3問	シヨウジヨウバエの眼色の遺伝
第4問	生態系の物質収支, 生態ピラミッド



特殊問題の有無 数理生物学なし 生物物理なし ノーベル賞なし 範囲外問題なし 長文論述なし

特記事項 特になし

総合評価

難度	2.9	最難を5とする問題自体の難度	標準	一次合格に必要な正答率(予想)	69%
分量	65分	完答に要する時間(制限時間は60分)	やや多い	標準	

入試の特徴と対策

- ▶ 大問ごとにテーマが一貫している。分野を横断する融合的な大問がほとんどない。
- ▶ 定石的・定型的な問題が多い。

入試から見る大学が求める学生像

大問ごとの難易度の差が激しい。まずは解ける問題を確実に見抜いて合格点までのペースを作っておく必要がある。また、高難度の問題では、煩雑な計算も要求されやすい。難度を見極めつつ時間配分を考えるハイレベルな情報処理能力が求められる。